

1 学校教育目標

《自ら考える・敬い愛する・たくましい 子どもを育てる》
 ◇保幼小中連携[15の春の姿]
 自立して生きていくための確かな3つの力(学力・心力・体力)と社会に通用する資質を身につけ、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる生徒

2 目指す姿(学校像・生徒像・教師像)

【目指す学校像】・保護者・地域・学校・教育委員会が一体となって、より良い「学び」を発信することで、元気な町づくりに貢献する学校 ・プラス1の声かけや行動があふれる学校 ・未来に向かう学校
 【目指す生徒像】校訓『自主・敬愛・責任』 ・教育目標 ・15の春の姿
 【目指す教師像】・子どもの気持ちや願いに寄り添い、良さや意欲を引き出す教職員
 ・教育に対する情熱と教育職に対する使命感を持ち、常に研鑽をつむ教職員
 ・保護者や地域の願いを受け止め、地域とともにある学校づくりを推進する教職員

3 現状と課題

- 1 基礎学力の定着を図るために、現在取り組んでいる授業力向上を目指した授業づくりと家庭学習不足の改善、主体的な学習態度の育成を継続・充実させていく必要がある。
- 2 学年によっては自己肯定感が低く、互いに尊重し合えていない現状がある。主体性やコミュニケーション能力の育成、貢献意識の醸成を図る取組が必要である。
- 3 保幼小中連携や地域の教育力を活用して、生徒数の減少における生徒活動の工夫を行い、学校の活性化を図ることが急務である。

4 目標

<p>[中期経営目標] (平成24年度から5年間) Ⅰ. 確かで豊かな学力の育成) 子どもたちに確かな学力をつける。(自分の考えを持ち、表現し、共に学び合う力の育成) Ⅱ. 豊かな人間性の育成) 阿戸版予防的生徒指導を構築する。(主体的な活動を通して自他を理解し、互いに尊重し合える生徒の育成。郷土と学校を愛し、貢献する生徒の育成。プラス1の校風づくり) Ⅲ. 信頼される学校) 保幼小中の15年間阿戸っ子教育の体制をつくり、小中連携による9年間の一貫した指導を通して教育効果を上げる。地域と学校が協力して、学校教育の充実を図る。(まちぐるみの教育体制の確立)</p>	<p>[評価指標] (本年度) 1. 授業改善・家庭学習の実効果の度合 2. 学校生活の充実化の度合 3. 保幼小中連携の実動の度合 4. 学校運営協議会の設置</p>
--	---

短期経営目標	評価指標	主な具体的方策
I-1. 学力の向上を図る	一人ひとりを大切にしたい学びや、生徒がしっかり考える授業づくりを行う。 生徒アンケートの肯定的評価 80% 教職員アンケート肯定的評価 80%	①考える価値があり、意欲を喚起する課題を設定する。 ②学び合いを大切にしたい授業づくり行う。 ③小中連携の視点を入れた教材研究をする。 ④1人1回ずつの授業研究と協議会を実施する。
II-1. 主体性を育成する	1. 学校生活の様々な場面で、生徒一人ひとりの立場に応じた主体性を育成する。 2. ボランティア活動を計画し、推進する。 生徒アンケートの肯定的評価 80% 教職員アンケート肯定的評価 80%	1-①自分の役割をこなすための場や機会を設定する。 1-②生徒会活動や学級活動の中で、リーダーを育てる 1-③活動の振り返りを大切にする。 1-④生徒会が連携する取組を行う。 1-⑤「プラス1」を意識する取組を行う。 2-①生徒会などを使った校内ボランティア活動を仕組む。
I-2. II-2. コミュニケーション力を鍛える	15の春を見通したコミュニケーション能力の育成を図る。 生徒アンケートの肯定的評価 80% 教職員アンケート肯定的評価 80% 保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%	①総合的な学習の時間で、主体的に地域や職場の方に働きかける。 ②道徳で、ライフスキル教育や、エンカウンター、ロールプレイを位置づける。 ③言語・数理運用科で、ディベート学習を導入する。 ④生徒会活動であいさつや言葉遣いに関する取組を行う。
III-1. 小中連携を充実させる	1. 組織を改編してねらいの明確化と連携の日常化を図る。 2. 小5・6と中1のスムーズな接続を研究する。 生徒アンケートの肯定的評価 80% 教職員アンケート肯定的評価 80% 保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%	1-①毎月の担当者会が機能するよう、会議時間の厳守、提案資料の工夫等を図る。 1-②様々な場面で、「連携の日常化」を意識する。 2-①各担当者会で小5・6と中1のスムーズな接続を研究する。
II-2. III-2. 地域貢献の意識を持つ。	「教育の絆プロジェクト」のコーディネーターを機能させる。 生徒アンケートの肯定的評価 80% 保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%	①生徒による地域ボランティアの立ち上げ、教職員の地域会議や行事等への参加を行う。 ②花ボランティアの活動を通して、地域に貢献する。 ③来客者に対してにこやかな対応に心がけ、色刷りの学校だよりで関心をもってもらいたい。

